

福岡市整形外科医院火災 10人死亡 5人負傷 2013年10月11日



リスク対応のステップ「超社長限界でしょ（調謝調原改で処）」

- ① 調査 : 「現状はどうなっているのか」「関係者は誰か」「誰にどう迷惑をかけたのか」「違法性は」等、限られた時間内で、尽くせる限りの現状把握調査を行い、情報を一元化する。
- ② 謝罪 : 「間違えたこと、迷惑をかけたこと」を自己認識し、謝罪する。責任者が行う。
- ③ 調査 : 被害（迷惑）の状況、関係者がどこまで及んでいるか、今後どのような波及があるか、現状を網羅的に調べ、想像力を働かせて今後の影響度合いを把握し、“最悪の事態”までを想定する。不明確なことには言及しない。嘘はつかない。
- ④ 原因究明 : 「なぜそうなったのか」「いつからそうなったのか」「その背景や遠因は何か」を徹底的に調べる。当事者に利益相反があるなら、第三者による調査を行う。
- ⑤ 改善策 : 再発を防ぐとともに、再起・再生を果たすために、全組織を上げた再発防止策、及び改善策を策定する。トップまでしっかりと認識する。
- ⑥ 処分 : 関係者の処分を行う。公正な処分を行う。納得性ある処分を行う。